

令和6年度 地域おこし協力隊アドバイザープロフィール

ふりがな	いながき ふみひろ			
氏名	稲垣 文彦			
所属・役職	NPO法人ふるさと回帰支援センター・副事務局長			
所在地	東京都			
略歴	<p>1967年新潟県長岡市生まれ、長岡技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程終了、博士(工学)。専門は災害復興と地域づくり。外部人材を活用した新たな内発的発展論を展開し、地域づくりにおける住民の主体形成プロセスを研究。国の地域おこし協力隊、集落支援員、復興支援員制度、関係人口の施策等の普及、人材育成に尽力。他に総務省地域力創造アドバイザー、地域おこし協力隊サポートデスクスーパーバイザー、内閣府令和4年度関係人口創出・拡大のための対流促進事業選定委員会委員、国土交通省令和5年度二地域居住等の推進に関する懇談会委員、令和5年度全国過疎地域連盟調査研究会委員、(公社)中越防災安全推進機構理事、関西学院大学災害復興制度研究所客員研究員、日本災害復興学会理事等。主な著書として「震災が語る農山村再生 地域づくりの本質(2014)コモンズ」「地域おこし協力隊10年の挑戦(2019)農文協」</p>			
地域おこし協力隊に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>2004年、地域復興のための中間支援組織「中越復興市民会議」を創設、官民協働による震災復興を推進。2009年、(公社)中越防災安全推進機構復興デザインセンター長に就任、中越地震の地域復興支援員の人材育成、東日本大震災の復興支援員制度の普及に尽力。2012年、初代ながおか市民協働センターに就任(兼務)、2015年、柏崎市協働まちづくり専門官に就任(兼務)、その後、初代かしわざき市民活動センター長に就任、市民協働のまちづくりに尽力。2021年、ふるさと回帰支援センター副事務局長に就任(現職)、地方移住の推進と研究を行う。</p>		
	これまでに関与した地域おこし協力隊に関するプロジェクト	<p>地域おこし協力隊サポートデスクスーパーバイザー、総務省等の地域おこし協力隊全国研修会(初任者研修、ステップアップ研修)のプログラム作成と運営及び講師。令和4年度地域おこし協力隊員募集・受入支援モデル事業アドバイザー(外部有識者)、令和5年度栃木県地域おこし協力隊研修会講師、令和5年度鹿児島県地域おこし協力隊初任者研修講師、令和5年度新潟県地域おこし協力隊市町村担当者研修会講師、令和5年度大分県地域おこし初任者協力隊研修会講師、令和5年度北海道地域おこし協力隊自治体担当者向け研修会講師等</p>		
助言可能な内容		募集企画の作成・魅力度の向上		任期終了後の支援
	○	受入体制づくり・受入の増強	○	都道府県OB・OGネットワークの推進
	○	市町村のサポート体制の強化	○	その他(詳細は以下に記載)
	○	情報発信の強化	自治体職員向けの講習会の実施	
	○	「地域おこし協力隊インターン」等の活用推進		
自治体へのメッセージ	<p>地域おこし協力隊(外部人材)を活用した地域づくりをはじめの一步からお手伝いします。</p>			